

## 静岡県の事業概要

### 【1】地域概要

- ・都道府県担当轄課：静岡県健康福祉部こども家庭課
- ・児童数(0歳～18歳以下)：560,594人(令和4年3月31日現在)
- ・精神科のある医療機関数：187機関  
うち児童精神科を標榜している医療機関5機関

### 【2】拠点病院・機関概要

- ・拠点病院機関名：静岡県立こども病院  
(病床数279床 うち児童精神科専用病棟36床)
- ・事業実施科名：こころの診療科
- ・事業開始年：平成23年度(平成20～22年度はモデル事業として実施)
- ・子どもの心の診療機関マップ実施：登録施設数 22施設  
(令和4年3月31日現在)



### 【3】事業実施への経緯

平成20～22年度の3カ年は、国のモデル事業として実施。平成23年度から国の「母子保健医療対策等総合支援事業」としての位置付けで事業を展開。モデル事業の実施の中で、県立こども病院が子どもの心の診療において地域医療の中で果たす役割が明確になったため、これまでに構築したネットワークを生かし、関係機関との連携を継続させている。

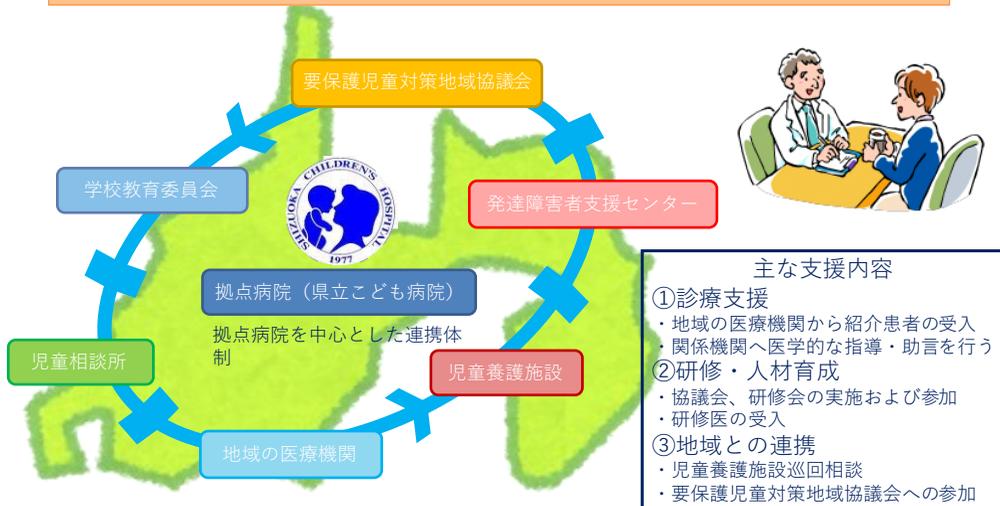
1

静岡県の事業概要～県立こども病院～

### 【4】事業図

＜静岡県子どもの心の診療ネットワーク事業

様々な子どもの心の問題・児童虐待や発達障害に対応するため、県立こども病院を拠点病院として各医療機関や保健福祉機関と連携した支援体制を図る。



2

## 【5】実施事業の概要

### ①診療支援[連携]事業

- (1) 地域の医療機関から相談を受けた心の問題や児童虐待、発達障害の症例に対する診療支援を行う  
⇒紹介患者の受入件数:701件 新入院患者数:79件(うち緊急入院:14件) [R3実績]
- (2) 地域の保健福祉関係機関等から相談を受けた子どもの心の問題や児童虐待、発達障害の症例に対する医学的支援を行う  
⇒児童養護施設巡回相談:10施設10回 [R3実績]
- (3) 地域保健福祉関係機関等との連携会議(児童相談所及び教育相談機関の連絡会等への参加及び助言)を実施(18回)  
⇒静岡市要保護児童地域協議会各区実務者会議(18回)、静岡市子どもと家族の精神保健ネットワーク運営会議(2回) [R3実績]

### ②診療関係者研修・育成事業

- (1) 医師等専門職に対する実施研修等を実施  
⇒静岡県摂食障害治療協議会(2回) [R3実績]
- (2) 地域医療機関、保健福祉関係機関等の職員に対する講演会等の開催  
⇒教師のための児童思春期精神保健講座の開催(4回、参加者:140人)、静岡市子どもと家族の精神保健ネットワークの講師(1回) [R3実績]
- (3) 子ども心の診療に専門的に携わる医師及び関係専門職の育成  
⇒研修医の受入れ(6名) [R3実績]

## 【6】特徴や特に力を入れている事業内容

県立こども病院は、拠点病院として地域医療機関への診療支援はもとより、児童虐待や発達障害の症例に対する医学的支援として、特に市町村要保護児童対策地域協議会への医師派遣や、児童養護施設への医療巡回相談など、福祉領域との連携に力を入れているところである。また、教師のための精神保健講座の開催や適応指導教室を指導する教員への助言指導など、教育機関の連携にも力を入れている。医師等専門職に対する実地研修等を通じて、子どもの心の診療に専門的に携わる医師及び関係専門職の育成にも努めている。県は、行政や保健福祉機関との連携について調整や事業啓発を行い、より効果的な展開に繋げていく支援を行っている。

3

## 【7】地域や関係機関との連携の状況

### ①地域の保健福祉関係機関等との連携会議

- (1) 児童相談所(6回)および子ども若者相談センター(12回)の連絡会等への参加及び助言
- (2) 静岡市要保護児童対策地域協議会代表者会議(1回)、各区実務者会議(18回)
- (3) 県中東部4市要保護児童対策協議会(4回)
- (4) 静岡市子どもと家族の精神保健ネットワーク運営委員会(2回)
- (5) 県中西部発達障害者支援センター-CoCo連絡会議:2回
- (6) 静岡県摂食障害治療協議会(2回)
- (7) 静岡県中西部発達障害者支援センター連絡協議会 2回

### ②地域医療機関、保健福祉関係機関等の職員に対する講演会等の開催

- 子どもの心の診療に専門的に携わる医師及び関係専門職の育成
- (1) 研修医の受け入れ(6名)
  - (2) 教師のための児童思春期精神保健講座の開催(4回、延べ参加人数:140人)(県内小中学校教諭対象6.8.10.12月実施)
  - (3) 静岡県高校通級教室支援委員会の講師(2回)
  - (4) 県東部発達障害者支援センターアスタ主催/小児科医向け研修の講師(1回)
  - (5) 静岡福祉大学主催/教員福祉系職員向け講師(1回)

※すべてR3実績

4

## 【8】事業による効果と思われるもの(H28-30年度からの改善点など)

福祉領域では、要保護児童対策地域協議会への医師派遣について、これまで行ってきた静岡市以外からも要望が多く、令和4年度からは県内4市町村に範囲を広げて派遣を行っている。教育領域では、通級指導教室や適応指導教室で指導を行う教員に対する支援を拡大して欲しいとの要望が多く、チーム・カウンセリングや講演会への医師派遣を拡大している。医療領域では、静岡県摂食障害治療拠点を担当する浜松医大精神科と連携し、子どもの摂食障害の治療ネットワークの構築を進めており、県内小児科医療機関を対象とした研究会・症例検討会の運営を担って、この疾患の治療に携わる医師を増やすことに努め、その研修を進めている。このように、福祉・教育・医療の各分野でネットワークの構築が進み、具体的な事業効果がみられている。

県立こども病院が、地域の医療機関から相談を受けた心の問題や児童虐待、発達障害の症例に対する診療支援は、年平均で約600件(※)の実績となっており、専門医療期間としての地域医療への貢献度は大変高いものであると考えている。  
 ※紹介患者受入実績：(H23)593件、(H24)700件、(H25)608件、(H26)583件、(H27)572件、(H28)588件  
 (H29)569件、(H30)557件、(R1)623件、(R2)689件、(R3)701件

## 【9】目指す方向性について (今後の予定事業や展望、目標など)

発達障害領域では、県立こども病院はこの事業を通じて、県中西部自閉症発達障害支援センター(COCO)を支援しているが、今後COCOと共同で発達障害児の支援事業を拡大し、この領域で医師派遣による支援を行っていくことを検討している。具体的にはCOCOの支援する市町で乳幼児健診、療育を行う幼保園や児童発達センターへの巡回指導等に医師が随行して指導を支援する体制づくりを協議しているところである。

静岡県全体では児童精神を診察できる医師の育成が課題となっており、県としても、国立大学法人浜松医科大学に寄附講座を開講し、勤務医師増加に向けて取り組んでいるところである。静岡県立こども病院は令和4年度から子どもの心の専門医の育成を行う研修施設の認定を受けて体制を整備しており、今後は小児科医との密接な連携を生かして、この分野の診療を志す医師の研修を支援していく方針である。

県立こども病院は、拠点病院として様々な心の問題に対しての課題アプローチに積極的に取り組んでいるが、県との連携をより一層強めることで、さらに効果的かつ広域的な事業展開によるネットワーク体制の構築に繋がることから、今後、拠点病院と行政の定期的な情報共有、事業連携等さらに力を入れて生きたい。